

パブリックコメント結果

1. 結果公表した案件

案件名 「鳴門市まちなか未来ビジョン（素案）」について
募集期間 令和8年3月18日（水）～令和8年4月17日（金）

2. 意見募集の結果について

上記の案件について意見募集をした結果、市民の皆さん等から意見・情報のご提供がありました。これらの意見等についての集計と鳴門市の考えは以下のとおりです。提出いただいた意見等は、これらの趣旨を損なわないように要約しました。なお、賛否の結論だけを示した意見等については、市の考えは示しておりません。

1 募集結果

募集期間	令和8年3月18日（水）～令和8年4月17日（金）
意見等提出者数	5人
提出件数 （提出方法内訳）	11件 （直接持参 通、郵便 通、FAX 通、Eメール 6通、その他 通）
意見等の反映状況	A 意見等を計画等に反映するもの・・・・・・・・・・ 0件
	B 意見等が既に反映されているもの・・・・・・・・・・ 1件
	C 意見等を今後の参考とするもの・・・・・・・・・・ 9件
	D 意見等を反映する見込みのないもの・・・・・・・・・・ 1件

2 意見等の分類

項 目	件 数
(1) 計画全体に関する意見等	9件
(2) 未来ビジョンコンセプトに関する意見等	1件
(3) その他意見等	1件

3 意見等と市の考え方

(1) 計画全体に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え	反映
1	<p>中心市街地は住宅が多く、空き地・空き家が点在しているが有効活用が進んでいない。未利用地の活用促進や、固定資産税の見直しなどの施策を検討すべき。</p>	<p>中心市街地における空き地・空き家の存在や低未利用地の増加は本市における重要な課題であると認識しております。</p> <p>本ビジョンにおいても、こうした未利用地を活用したりノベーションまちづくりや、官民連携によるエリア価値の向上を位置付けており、今後の具体的な施策検討の中で、活用促進に向けた方策について検討してまいります。</p> <p>先行しまして、中心市街地の空き家を活用してまちづくりを行う方に補助する制度を本年度から開始する予定としております。</p> <p>なお、空き家を除却したきに、土地の固定資産税を一定期間、除却前の税額水準まで減免する制度があります。</p>	B
2	<p>鳴門駅周辺は通過点となっており、立ち寄る場所や観光地への導線が不足している。JR と連動した安価な循環・接続バスの導入や、関係事業者との費用負担の検討が必要。</p>	<p>ご指摘のとおり、現状では駅周辺は通過点となっており、まちなかや観光地へのアクセスや回遊性の向上が課題であると認識しております。</p> <p>本ビジョンにおいても、駅とまちなか、さらには周辺エリアをつなぐ都市構造の再編等を掲げており、公共交通との連携についても重要な視点と考えております。</p> <p>一方で具体的な施策については、今後の交通施策や基本計画等の中で検討していくこととなります。ご提案いただいた循環バス等につきましては、関係事業者との連携や費用負担の在り方も含め、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>	C
3	<p>中心市街地のまちづくりにおいて、市民会館の駅前への設置が検討されていないことに疑問がある。</p> <p>市民会館のようなものをポートレース鳴門付近で検討しているのは、本当か。</p> <p>鳴門市は東西に長く、車に乗れない人もいることから、市民会館は駅周辺への立地が望ましい。</p> <p>イベント会場が必要なのであれば、広場や野外ステージの設置などで十分。</p>	<p>本ビジョンは、駅周辺を含む中心市街地の将来像や方向性を示すものであり、個別施設の具体的な立地については、今後の個別計画等において検討していくこととなります。</p> <p>いただいた、ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>	C

4	<p>徳島市と鳴門を水路や川で繋ぐルート検討やひょうたん島クルーズとの連携により、観光誘客や滞在性向上を図るべき。</p>	<p>水路や川を活用したまちづくりについては、有効な視点であると認識しており、本ビジョンにおいても、撫養川をはじめとする水辺空間を活かしたまちづくりや、水辺とまちなかをつなぐ導線の強化を位置付けております。</p> <p>徳島市との連携や水上交通の活用につきましては、観光誘客や滞在性向上の観点からも有効な可能性があると考えられることから、広域的な視点も含め、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>	C
5	<p>新駅舎については木造化（県産材活用）とともに、図書機能、自習スペース、チャレンジショップ等を併設し、観光客誘致をセットで検討すべき。</p>	<p>本ビジョンにおいても、駅周辺を「人がつどい、滞在する拠点」として位置付けており、図書機能や学習スペース、交流機能など、多様なニーズに対応する空間づくりを検討しているところです。</p> <p>また、地域資源を活かした魅力ある空間形成も重要であると認識しており、木材の活用や施設機能のあり方につきましても、いただいたご意見を今後の参考とさせていただきます。</p>	C

<p>6</p>	<p>鳴門駅周辺の活性化に向けた取組には期待している。</p> <p>一方で、大型スーパーの閉店により徒歩圏内の買い物環境が失われ、高齢者にとって不便となっていることから、生鮮食品が購入できる小規模なスーパーがあるとよい。</p> <p>また、若者だけの意見ではなく高齢者を含めた多世代が住みやすい環境づくりが進むことを望むとともに、駅移設に伴う騒音や排気ガスへの不安があるため、周辺住民への丁寧な意見聴取をお願いしたい。</p> <p>あわせて、新駅舎については、図書機能や交流機能の導入や、自然に調和したデザイン、誰もが利用しやすい公共空間となることを期待する。</p> <p>さらに、幅広い世代の意見が反映されるとともに、今後の情報発信が充実し、鳴門に住み続けてよかったと思えるまちになることを願っている。</p>	<p>徒歩圏での生活を前提とする中で、身近な買い物環境が失われている点については、日常生活に直結する課題として受け止めております。本ビジョンにおいても、駅周辺を単なる賑わいの場にとどめるのではなく、日常生活を支える機能や、多様な世代が安心して過ごせる環境の確保を位置付けております。</p> <p>また、駅の移設に関する騒音や排気ガスへの不安についても当然のご意見と受け止めております。今後の検討にあたり、周辺にお住まいの方々への丁寧な説明や意見把握に努めてまいります。</p> <p>あわせて、鉄道環境に関しては、本年6月よりハイブリット式の新型車両（3600型）の導入が予定されており、騒音や環境負荷の軽減が図られる予定です。こうした動向も踏まえながら、引き続き安心して暮らせる環境の確保に配慮してまいります。</p> <p>新しい駅舎における図書機能や交流機能の導入、景観やデザインに関するご意見についても、本ビジョンの方向性と通じるものと認識しており、長く親しまれる空間となるよう検討してまいります。</p> <p>本ビジョンでは、若い世代の視点を一つのきっかけとしつつも、世代を超えて人や活動がつながるまちづくりを目指しております。今後も多様な世代の皆様のご意見を伺いながら、誰もが暮らしやすく、訪れたいまちなかの実現に取り組んでまいります。</p> <p>引き続き、情報発信にも努めてまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。</p>	<p>C</p>
----------	--	---	----------

7	<p>鳴門市は富山市、宇都宮市のようなコンパクトシティを目指すべきである。</p> <p>鳴門市は長野県上田市のような鳴門圏を構築すべきである。</p> <p>鳴門市が SDGs 未来都市鳴門を創出すること。</p>	<p>コンパクトシティの考え方や、広域的な圏域形成の視点、また SDGs の理念に基づく持続可能なまちづくりの推進につきましては、いずれも重要な視点であると認識しております。</p> <p>本ビジョンにおいても、中心市街地に都市機能を集約し、居心地がよく、歩いて過ごせるまちなかの形成や、多様な主体が関わる持続可能なまちづくりを目指しているところです。</p> <p>また、周辺地域との連携や地域資源を活かした魅力づくりについても重要な要素と考えており、いただいたご意見も踏まえながら、今後のまちづくりの検討を進めてまいります。</p>	C
8	<p>駅周辺再編について、谷通りと大道の間に新駅整備案に賛成する。不利益を被る人が少なく、用地買収の抑制による事業費の圧縮が期待できるためである。</p> <p>また、それぞれの事業に対する要望を以下に述べる。</p> <p>①キョーエイ跡地の整備 当該用地は、分譲マンションを建設する目的で民間デベロッパーへ売却し、1 階をテナント、2 階を介護施設・保育施設とすることを提案する。また、北側駐車場については立体駐車場として整備することを提案する。</p> <p>②新駅の整備 新駅は片側ホームとするなどコンパクトな整備とし、西側から出入りできる構造とすることを求める。また、観光案内所との併設による業務連携や、駅西側への駐車場・駐輪場の十分な確保を求める。</p> <p>③谷通りの延伸 谷通りは国道 28 号に対して右カーブで垂直に接続するなど、合理的な線形とすることを求める。</p> <p>④旧駅舎跡地の整備 旧駅舎跡地は、キョーエイ跡地の整備状況を踏まえ、柔軟に活用できる計画とすることを求める。</p>	<p>本ビジョンは、駅周辺を含む中心市街地の将来像や方向性を示すものであり、駅位置や施設配置、道路線形等の個別具体の整備内容については、今後の基本計画や設計段階において検討していくこととしております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の具体的な検討を進めるにあたっての参考とさせていただきます。</p>	C

9	<p>賑わい創出には人の集積と滞在が重要であり、徒歩中心のまちづくりの方向性には賛同する。一方で、人が集まり滞在する動機づけや行動設計については更なる検討の余地があると考えます。</p> <p>個別の施設やコンテンツに依存するだけでなく、公共交通機関を「人が集まる基盤」と位置付け、利用促進により人の流れを生み出すことで、民間による滞在型コンテンツへの投資を促すべきである。</p> <p>その具体策として、①高速鳴門バス停エリアをビジョンの対象に加えること、②JR 鳴門駅と高速鳴門バス停を一体的な交通ハブとして位置付けること、③両者を結ぶ連絡バス（無料または低額）の運行を提案する。</p> <p>あわせて、バスロータリー整備や歩行環境の向上により公共交通の利便性を高めることで、観光客の受入環境の改善や回遊性向上につなげるとともに、買い物弱者対策や観光地へのアクセス向上にも寄与すると考える。</p>	<p>本ビジョンにおいては、人が集い、滞在し、活動が生まれる空間づくりを通じた賑わいの創出を基本的な考え方としております。</p> <p>ご提案いただいた高速鳴門バス停エリアの位置付けや交通結節機能の強化については、回遊性の向上や広域的なアクセスの観点から重要な視点であると認識しております。一方で、本ビジョンは中心市街地の空間形成や滞在環境の充実に主眼を置くものであり、公共交通の具体的な位置付けや施策のあり方については、今後の交通施策や関係事業者との協議の中で検討していく必要があるものと考えております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、回遊性の向上や交通結節機能の強化の観点から、今後の具体的な検討を進めるにあたっての参考とさせていただきます。</p>	C
---	---	--	---

(2) 未来ビジョン「コンセプト」に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え	反映
1	<p>未来ビジョンのコンセプトについて、「いい風が吹く」という表現は受動的な印象があり、市民や行政が主体的にまちづくりに関わる意図が伝わりにくいと感じる。</p> <p>そのため、[鳴門に吹く いい風を起こそう、愛するところ(まち)を育てよう]ではどうか。</p> <p>また、意図が含まれていても伝わらなければ意味がないため、より分かりやすい表現とすべきである。</p>	<p>本ビジョンのコンセプトにおける「いい風が吹く」という表現には、市民や事業者、行政など多様な主体が関わりながら、まちに変化を生み出していくという意図を込めております。</p> <p>本コンセプトは、主体的な取組の積み重ねによって、まちに良い流れが生まれていく様子を表現したものです。</p> <p>いただいたご意見も踏まえ、今後の取組や情報発信において、コンセプトに込めた考え方・思いがより伝わるよう努めてまいります。</p>	C

(3) 「その他」意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え	反映
1	<p>南海フェリーの廃止を踏まえ、撫養港の歴史的役割も考慮し、輸送手段の多様化や有事対応の観点から対応を検討すべきである。</p> <p>あわせて、自治体出資による第三セクター化や、新たな航路（和歌山市・関西国際空港方面）の開設を検討し、観光誘客や物流機能の強化、鳴門市の存在感向上につなげるべきである。</p>	<p>本ビジョンは、鳴門駅周辺を中心としたまちなかについて、将来を見据えたまちの将来像と、その実現に向けた方向性を整理し、市民の皆様にお示しするものです。</p> <p>ご意見にある広域的な交通ネットワークや航路のあり方は重要な視点であると認識しておりますが、本ビジョンは中心市街地の空間形成や賑わい創出を主な対象としていることから、個別の交通事業や広域航路に関する施策については本ビジョンでお示しするものではないことをご理解ください。</p>	D